

Application of statistical approaches in the built environment: assessment of the mutuality between health and energy

トウースティ, ニシャット, タスニム

<https://hdl.handle.net/2324/5068255>

出版情報 : Kyushu University, 2022, 博士 (学術), 課程博士
バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)



氏 名	TOOSTY NISHAT TASNIM			
論 文 名	Application of statistical approaches in the built environment: assessment of the mutuality between health and energy (都市建築環境における統計学手法の適用：健康－エネルギーの相互 関係の分析)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	萩島 理
	副 査	九州大学	教授	谷本 潤
	副 査	九州大学	教授	杉原 裕司

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、環境・エネルギー・健康のトリレンマに関わる 3 つの事象、即ち、気候変動による高温リスク上昇の証左としての熱中症発生、健康快適な室内環境形成のための冷房使用、再生可能エネルギー導入拡大におけるボトルネックとなりうる住宅の電力需要の時変動特性を取り上げ、精緻な統計分析によりその要因を明らかにしたもので、建築環境工学の進展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（学術）の学位論文に値すると認める。